

## 予算審査特別委員会産業建設分科会

- 1 開会日時 令和3年6月17日（木）午前11時50分
- 2 閉会日時 令和3年6月17日（木）午後0時25分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
2番 鼻岡 美保君                      7番 佐々木雄司君                      11番 治徳 義明君  
13番 金谷 文則君                      16番 佐藤 武文君                      18番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
市 長 友實 武則君                      副 市 長 前田 正之君  
産業振興部長 是松 誠君                      建設事業部長 高橋 渉君  
産業振興部政策監  
兼建設事業部政策監 中山 教浩君                      建設事業部参与兼  
地域整備推進室長 小坂 憲広君  
農 林 課 長 矢部 勉君                      商工観光課長 大崎 文裕君  
建 設 課 長 福圓 章浩君                      上下水道課長 中務 浩行君  
赤坂支所  
産業建設課長 石井 徹君                      熊山支所  
産業建設課長 岡田 浩司君                      砂子 武久君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君                      副 参 事 野田 順子君
- 8 審査又は調査事件について  
1) 議第33号 令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）の産業建設常  
任委員会所管部分
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前11時50分 開会

○分科会委員長（金谷文則君） それでは、ただいまから予算審査特別委員会産業建設分科会を開会いたします。

これから分科会の審査に入ります。

当分科会の審査対象は、議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）のうち、産業建設常任委員会所管部分であります。

まず、産業建設の関係の予算から審査を行います。

補足説明がございましたらお願いをいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） それでは、産業振興部農林課、商工観光課、それぞれ担当課長より御説明申し上げます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

まず、説明はお分かりになっておられると思いますが、ページ数とか分かるように説明をしてから進めてください。

○農林課長（矢部 勉君） 議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）の農林課所管部分について補足説明いたします。

まず、補正予算書の18、19ページの真ん中あたり、補正予算説明資料は6、7ページの真ん中から少し下あたりを御覧ください。

6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費でございますが、まず農作物振興検討業務委託料を追加計上させていただいております。市の振興作物であります果樹等を栽培している既存農家の規模拡大志向や新規就農者の優良な圃場確保の速やかな対応を目指しまして、農地の整備計画を策定し、国や県に補助金申請する資料を調えるまでの作業を行うためのものがございます。

それから次に、是里ワイナリーの休業補償でございますけれども、これについては本会議での質疑のとおりでございます。

以上で一般会計補正予算（第3号）農林課分の補足説明とさせていただきます。

○分科会委員長（金谷文則君） 続いてお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）につきまして、商工観光課部分所管について補足説明させていただきます。

議案書のほうでは20ページ、21ページ、それから補正予算説明資料のほうでは8ページ、9

ページでございます。

それでは、議案書の20ページからお願いします。

7款商工費、1項商工費、2目商工振興費では、負担金の増額を行っております。主なものにつきましては、がんばろう赤磐経済対策キャッシュレス決済推進事業負担金で、詳細につきましては本会議場質疑におきまして御説明のとおりでございます。そのほかにつきましては、例年6月以降に支出する経常的経費を計上させていただいております。

続きまして、同じく3目観光費につきましては、修繕料、補償金、補助金の増額でございます。主なものにつきましては、緊急事態宣言に伴うリゾートハウスこれさへの休業補償金、こちらにつきましても本会議場質疑におきまして説明のとおりでございます。そのほかのものにつきましては、例年6月以降に支出する経常的経費を計上させていただいております。

商工観光課からの補足説明は以上でございます。

○分科会委員長（金谷文則君） それでは、どうでしょうか。この産業振興部の農林の関係と商工と、今説明があった2つについて、先に質疑を受けたいと思います。

質疑ございませんか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 19ページの農作物振興検討業務委託料、先ほど課長の説明では、新しい事業のような考え方の説明をされたと思うんですけど、もう少し具体的に、どういうものをこの予算330万円の中で考えておられるかということについて、もう少し詳細な説明をいただきたいと思います。

○分科会委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの佐藤委員の御質問でございます。

まず、農作物振興検討業務ですけれども、現在市の特産品でございます、特に果樹などがございますけれども、既存農家が規模を拡大される場合、それから新規就農者の方の場合もまず何が要るかと申しますと、土地が必要です。優良な農地と一言で申しましても、水はけの悪い農地とかいろいろございます。広い農地があっても実際には使えないとか、そういう面的なものでございますけれども、こういったところを今後整備をしていきたいと考えております。これは、桃にしてもブドウにしてもそうですけれども、田んぼでなくて、畑のほうのお話でございます。主にそのお話でございます。

以上です。

○分科会委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 要するに、水田じゃあなしと、果物が中心で今回は計画をされておられるということで理解してよろしいのでしょうかね。

○分科会委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま佐藤委員の御質問でございますけれども、果物について、例えば地目が田んぼであっても、今は田んぼを改良して畑に使っているとか、そういったこともあります、実際にはケースとして。ですから、田んぼに限らず、畑に限らずでございますから、土地の地目には関係なくですけれども、おっしゃるように、果物を中心としたものになると思います。

以上です。

○分科会委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいですか。

○委員（佐藤武文君） 分かりました。ありがとうございました。

○分科会委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 21ページの日本貿易振興機構負担金10万円、和気地区雇用開発協会負担金15万円、この2つの組織、どういうことをやられる機関かということについて説明をしていただきたいと思います。

○分科会委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 日本貿易振興機構につきましては、通称ジェトロさんと言われます。こちらのほうで市内企業さんの海外輸出でありますとか海外進出につきまして御協力をいただいているところです。海外輸出や進出につきまして市内企業さんから相談があったときなんかには、ジェトロさんにつながせていただいているようなところです。また、ジェトロさんにつきましては、このコロナ禍ですので、海外のECサイト、こちらへ事業者さんをつなぐような事業も行っております。また、セミナーか等も市のほうでは参加させていただいております。

それから、和気地区雇用開発協会、こちらのほうですが、赤磐市、備前市、和気町、和気の公共職業安定所が共同で就職支援を行う目的を持って、備前商工会議所が事務局になりまして、新規学卒者や中途採用の対象の企業説明会などを行っているものでございます。

以上です。

○分科会委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 結構です。

○分科会委員長（金谷文則君） 他に農林商工、ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（金谷文則君） ないようですので、じゃあ続いて建設事業部関係の予算の審査を行いたいと思います。

補足説明がございましたらお願いをいたします。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） それでは、建設事業部関連につきまして補足説明がございませんので、担当課長より説明させていただきます。

○分科会委員長（金谷文則君） それでは説明をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

もう一遍言いますが、ページ数をしっかり言ってくださいね。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）について、建設課所管分の補足説明をさせていただきます。

一般会計補正予算書の18、19ページ、補正予算説明資料の6、7ページをお願いいたします。

6款農林水産業費、1項農業費、5目農地費で、日古木大池の底樋が破損しており、その改修に係る経費として工事請負費を1億4,000万円補正することとしております。大きいものはそれが一番大きいもので、そのほかのものにつきましては、当初予算が骨格予算でございますので、例年6月以降に支出する経常的経費分を補正で計上させていただいております。

以上で建設課の説明を終わります。

○分科会委員長（金谷文則君） 続いて、お願いいたします。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 小坂地域整備推進室長。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 続きまして、地域整備推進室所管の補正予算を御説明させていただきます。

予算書24ページ、25ページ、説明資料のほうは8ページ、9ページになります。

こちらのほうですが、8ページ、9ページの一番下に出てきます、担当部署が地域整備推進室となっているところの部分になります。

こちらのほうで主なものですが、報償費としまして立地適正化計画策定等協議会委員の報酬のほうを35万8,000円計上させていただいております。委託料としまして、事業計画書作成委託料としまして500万円、立地適正化計画策定にかかります調査、資料作成等の更新業務、こ

ちらのほうを予定しております。

地域整備推進室からの説明は以上でございます。

○分科会委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、今の説明についての質疑を受けたいと思います。

まず、鼻岡委員、お願いします。

○委員（鼻岡美保君） さっき言いかけたんですけど、1,040万円の需用費……。

○分科会委員長（金谷文則君） ページ数をすいませんが、言ってください。

18、19じゃないですか、大丈夫でしょうか。

○委員（鼻岡美保君） 18、19だと思うんです。

1つは、小規模土地改良工事が5,090万円がどこの改良工事なのか。

それから、さっき説明あったんですけど、ため池工事に1億4,000万円の大きな工事なんですけど、これ何か、視察とかもあるんですかね。

○分科会委員長（金谷文則君） すいません、そういう質問じゃなくて、今のこの議案についての質問をしてください。それはまた別のことでお願いします。

○委員（鼻岡美保君） ため池工事はどこのため池かっていうのが質問の一つです。

6款1項5目農地費の負担金、補助及び交付金、耕地事業補助金280万円は、どのような事業なのか。

それから、6款2項2目林業振興費……。

○分科会委員長（金谷文則君） すいません、鼻岡委員、例えば今のどこのかっていうたりするのは説明書にも載ってることであったり、事業はどんな事業かっていうのはもう既に予算のときに済ませておりますので、予算というか、前の事業はね。だから、その辺のことをよく考えて質問をしてくださいね。

ここで暫時休憩いたします。

午後0時6分 休憩

午後0時7分 再開

○分科会委員長（金谷文則君） それでは再開をいたします。

鼻岡委員、どうぞよろしくお願いいいたします。

○委員（鼻岡美保君） 22ページの8款1項1目土木総務費の丈量図作成委託料と地図訂正分というのは、これは1連の物なのかということがお聞きしたいんです。

8款2項2目道路維持費、11番の需用費修繕料の1,137万5,000円は、どこの、何の修繕なのか。15番の工事請負費、維持補修工事費4,250万円はどこなのか。同じく建設工事費の1,700万円はどこのものなのか、何の建設なのか。

○分科会委員長（金谷文則君） 暫時休憩をします。

午後0時8分 休憩

午後0時12分 再開

○分科会委員長（金谷文則君） それでは再開いたします。

○委員（鼻岡美保君） では、引き続きやらせていただきます。

24ページの8款4項1目都市計画総務費、8番の報償費の誰っていうのが53万4,000円を誰にどういう形でお礼をするのか。13番委託料、事業計画作成委託料500万円、調査委託料700万円、これが関連したものなのかどうなのか、相手は同一の人なのかお聞きしたいです。

以上です。

○分科会委員長（金谷文則君） 答弁をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 鼻岡委員の御質問に対してお答えします。

まず1つ目、5目農地費の修繕料につきましてですけれども、これは農道、水路等の農業用施設が壊れた場合に緊急で修繕する費用として計上しております。

続きまして、小規模土地改良工事費につきましては、地元から要望のありました水路、農道、樋門等の農業施設の改良に係る経費として計上をしております。それで、要請を受けて修繕工事とか改良工事などを実施しております。

続きまして、ため池工事費、これにつきましては先ほど申し上げましたように、日古木大池の底樋の修繕工事を行う経費として計上しております。

続きまして、19番負担金、補助及び交付金につきましては、吉井地域の畑かん工事に係る工事費として計上しております。

続きまして、23ページの土木管理費の委託料、丈量図作成委託料と地図訂正委託料については、これは別のものです。丈量図作成というのは、改良工事に係る分筆等の分筆測量の作成費用に係るもので、その委託料を計上しております。地図訂正委託料は、国土調査図に訂正があった場合、これは市のほうで修正等を行いますので、そちらの費用として計上しております。

土木費の道路維持費の修繕料、こちらにつきましては、市道、側溝であるとか土木施設の緊急な修繕を行う費用として計上してございまして、緊急の修繕はこの修繕料で対応しております。

続きまして、工事請負費につきましては、こちらについては市道などの土木施設の、地元から要望があったものの修繕工事であるとか、そういったものを計上しております。

道路新設改良の建設工事費、これにつきましても地元からの要望を受けて工事を行うものですけれども、この道路改良について主なものにつきましては、市道鳥上中央線と県道岡山吉井線の交差点分の改良工事に係る経費として、その工事に係る経費を工事請負費として計上しております。

続きまして、都市計画費の謝礼につきましては、空家等対策検討協議会の委員に対する謝礼ということで計上しております。

続きまして、調査委託料につきましては、令和5年度に赤磐市空家等対策計画を改定するに当たり、空き家の実態を調査する経費として委託料を計上しております。

以上です。

○分科会委員長（金谷文則君） 鼻岡委員、よろしいか。

○委員（鼻岡美保君） いいです。ありがとうございます。

○分科会委員長（金谷文則君） 他にございますでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 19ページの委託料の測量設計委託料、圃場整備の関係なんですけど、この対象地区はどこかということについて説明してください。

○分科会委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） これは下仁保の圃場整備の基礎調査を行う委託料となっております。

○分科会委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいか。

○委員（佐藤武文君） 分かりました。

○分科会委員長（金谷文則君） 他にございますか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 25ページの都市計画費の関係の委託料の関係で、事業計画策定委託料500万円と調査委託料700万円、この関係で、先ほどもいろいろお話が出ておった関係の内容だろうと思うんですけど、これがなかなかまだ調査研究、委員会の中でもいろいろなことがまだ進んでない中で、作業だけがこういうふうに早く進行してしまうということに対して、またいろいろな議会に対して問題提起をつくるだけのようにならないかと思うんですけど、その辺のことについてどのように検討しておられるかということについて御答弁いただきたいと思います。

○分科会委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 先ほどのお話がありました調査委託料の700万円、これにつきましては、先ほど御説明をしましたがけれども、700万円につきましては赤磐市空家等対策計画を



改定するに当たり、空き家の実態調査をする経費としての700万円となっております。

○分科会委員長（金谷文則君） 続いてお願いします。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 小坂地域整備推進室長。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 事業計画書作成委託料についてですが、こちらのほうが立地適正化計画策定等協議会、こちらのほうを進めていく中で、協議会の中で意見等出ました場合に調査が必要となった場合の調査料、それからその中で資料等の作成が必要となった場合に対しての資料の作成の支援業務ということで予定をさせていただいております。

以上です。

○分科会委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 予算づけをするのに、まだ予算の計画もない中で、出てきたらそのことに対しての予算づけを考えておりますというのは、予算づけをするほうから、財政のほうからいうたら言語道断の予算づけなんです。計画にないものを予算つけるということは、これはできないと思うんです。そういうことをやるということ自体が問題を起すきっかけにつながっていくのではないんでしょうかと。だから、そういうことをされないほうがいいんじゃないんでしょうかと。要するに、この事業をもう少し進捗状況が進むまで待たれたほうが、私はいいと思うんですけど、今のような考え方で予算づけというのは、私はできないと思うんですよ。そのことについて御説明いただきたいと思います。

○分科会委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 小坂地域整備推進室長。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 立地適正化計画の策定等、協議会のほうでこれから、先ほど委員会のほうで説明させていただきましたスケジュールにおいて会議を開催していく予定でございます。その中で、委員の方からの御意見等、こういうことを調査してみなさいとか、それからこういう資料を次、作成してみなさいとかという御意見が出た場合に、そういったものに対応する予算を計上させていただいておるということです。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） いやいや、予算づけというのは、場合だったら予算はつけられないんです。こういうことが起きたから、このことについて予算をつけさせてください、出てきた場合に予算が必要なからつけますという予算づけはないんです、こういうつけ方は。こんな考え方でやったら駄目でしょうと。駄目ですよ、こんな、こんな考え方でやっていったら。しかも500万円ですよ、これ。市税、税金ですよ、これも。こんな無駄なやり方というのは、私

はちょっと常識では考えられない。こういう形でやるからいろいろな問題が起きるんで、その辺のことについては、これ以上言いませんけど、よく考えて執行をしていただきたいというふうに思います。

○分科会委員長（金谷文則君） 委員長報告のほうへしっかり書いて、今の問題について、こういう事業をやるからこういうふうに予算をつけてほしいということで500万円ついとんなら当然考えられるけどもっていう、強い、佐藤委員からの御意見でございます。これについては本予算委員会のほうへ委員長報告としてしっかり報告させていただいて、皆さんに協議いただくようお願いをしたいと思います。それでよろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） はい。

○分科会委員長（金谷文則君） 他にございますか。

○分科会副委員長（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○分科会副委員長（治徳義明君） 1点お伺いをいたします。

予算書の24ページ、25ページの土木費、都市計画費の中の、空家等除去事業補助金なんですけど、これ空家対策協議会の中で議論されて、平成30年6月に条例制定とともにできた施策なんだろうとは思いますが、100万円というふうになってますけれども、私の記憶では、前回までが250万円ぐらいだったと思うんですけど、減額された理由をお願いいたします。

○分科会委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 空家等除去事業補助金は1件50万円で計上しておりまして、前回当初で150万円出ておりまして、追加で100万円で、5件分の250万円をここで計上しております。

○分科会委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○分科会副委員長（治徳義明君） ごめんなさい、当初予算で150万円出てるということですね。ごめんなさい、よく見てなかったです。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） おっしゃるとおり、当初予算で3件分計上させていただいております。

○分科会副委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

○分科会委員長（金谷文則君） よろしいですか。

○分科会副委員長（治徳義明君） よろしいです。

○分科会委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（金谷文則君） それでは、以上出ましたことを委員長報告として上げさせてもらいたいと思います。

それでは、これで質疑を終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（金谷文則君） 以上で当分科会の審査は全て終了いたしました。

なお、委員長報告については委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（金谷文則君） そのようにさせていただきます。

皆様方には、本日は大変長い時間にわたりお疲れさまでございました。

それでは、これで予算審査特別委員会産業建設分科会を閉会といたします。

御苦労さまでございました。

午後0時25分 閉会